

土木建築委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 平成28年7月13日（水）～7月15日（金）

◆調査先・調査内容

①国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所（宮城県岩沼市下野郷）

調査内容：仙台湾南部海岸直轄海岸保全施設整備事業（緑の防潮堤）について

東北地方では、東日本大震災の経験を踏まえ、海岸保全施設の整備に当たり、想定を超える津波が発生し、海水が堤防等を越流した場合においても後背地の被害軽減を図ることができるよう、堤防の損傷等を軽減する構造の堤防整備を進めている。

堤防整備事業のうち、コンクリートで被覆された堤防の法面に盛土を行い、盛土に樹林を設置する「緑の防潮堤」は、当該防潮堤の損傷等を軽減する構造を有するものであり、景観や自然環境の改善など海岸環境の整備・保全に資する、新たな防潮堤事業である。

30年以内に70%程度の確率でマグニチュード8から9クラスの大地震が発生が高まっている南海トラフ地震に備え、今後の海岸保全施設整備の参考とするため、当該防潮堤事業の取組を調査した。

<主な質疑等>

- ・「緑の防潮堤」の強度について
- ・「緑の防潮堤」の施工に係る留意事項について



②北海道渡島総合振興局（北海道函館市美原4丁目）

調査内容：道南の道路ネットワーク事業について

北海道では、北海道新幹線（新函館北斗駅）の開業に伴い、観光地函館を有する道南地域において、新幹線駅と他の交通拠点や観光地等と結ぶ道路ネットワークの構築に取り組んでいる。

本県も別府温泉や由布院温泉を初めとした観光地があり、新幹線の開通に伴う観光客増加により、新幹線駅から主要観光地等への交通量増加が想定されることから、渋滞緩和対策や交通事故対策等について、事前に検討等の行う必要がある。

進展が予想される東九州新幹線に係る事業の参考とするため、新函館北斗駅の開通に伴う道南地域の道路ネットワーク事業等の取組を調査した。

<主な質疑等>

- ・交通事故抑止の取組について
- ・並行在来線について

